

# メランデ・ピアノ 三重奏団

スィシュ・ゲーデ(ピアノ)



ダニエル・ゲーデ(ヴァイオリン)

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団前コンサートマスター  
ベルリン・パルク・ノリステン音楽監督  
読売日響交響楽団前コンサートマスター

セバステイアン・ゲーデ(チェロ)

NDHエルブフィルハーモニー管弦楽団団員  
バイロイト祝祭管弦楽団団員  
エルブ・チェロ・ソリスト・団員

Mellande  
Piano Trio

【主催】ウィーンフィルメンバーによる室内楽を楽しむ会  
【共催】大館市教育委員会  
一般財団法人大館市文教振興事業団



## プログラム

- ブラームス ピアノ三重奏曲 第1番 口長調 作品8  
—— 休憩 ——  
ラフマニノフ 悲しみの三重奏曲 第1番 短調  
マルグリット・モノー 愛の賛歌  
ディルク・プロッセ タンゴ・トゥ・コート(素朴なタンゴ)  
スコットランド民謡 広い河の岸辺  
シュトラウス2世 美しく青きドナウに

※演奏者の希望により曲目を変更する場合がございます。

※開演時間が早くなっています

2025年 10月8日(水) 開場 17:30  
開演 18:00

ほくしか鹿鳴ホール 大ホール  
(大館市民文化会館)

《全席自由席》一般 3,500円(税込)

※一般当日券 4,000円 ※大学生以下無料(学生証提示)

《プレイガイド》ほくしか鹿鳴ホール/いどく大館ショッピングセンター/楽器の店コンチェルト  
ゆうフォート/文化の杜交流館コモッセ/北秋田市文化会館(ファルコン)  
北秋協販/日活書店/小坂町☎0186-29-3306(清水)

☎ほくしか鹿鳴ホール(大館市民文化会館)  
0186-49-7066

## メランデ・ピアノ三重奏団

### *Mollande Piano Trio*

前ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団及びウィーン国立歌劇場管弦楽団並びに読売日本交響楽団でコンサートマスターを務めたダニエル・ゲーデは、2011年東日本大震災時、日本公演を中止したウィーン・ザイフェルト弦楽四重奏団に代わり、実弟セバスティアン・ゲーデや幼馴染のステファン・フーヴァー及びマティアス・シェスルと名弦楽奏者を集めてゲーデ弦楽四重奏団を設立し、日本公演を大成功させた。

メランデ・ピアノ三重奏団は2018年に「飛鳥II世界一周クルーズ」に招かれた際に結成したピアノ・トリオ。マルタ共和国のバレッタからポルトガルの首都リスボンまでの船旅に参加し、演奏を披露した。また2021年には文科省他関係省庁による「外国人文化人の入国に関する特段の措置」を受け16日間の検疫期間を耐え、合計54日間の日本滞在で27回のコンサートを日本各地で開催し、多くの聴衆に深い感銘を与えた。また2023年の日本公演では2021年に引き続きゲーデ夫人である名ピアニスト、スイシュー・ゲーデ並びに実弟のチェロ奏者セバスティアン・ゲーデを得て室内楽の基本とも言べき、家族ならではの素晴らしく調和のとれた演奏の数々を披露し、日本各地において高い評価を得た。

※「メランデ」はトーマス、ダニエル、セバスティアンのゲーデ3兄弟が、幼いころに遊んでいたハンブルクの通りの名前。



### ■ダニエル・ゲーデ (ヴァイオリン) *Daniel Gaede*

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団前コンサートマスター  
ベルリン・バロック・ゾリステン音楽監督  
読売日本交響楽団前コンサートマスター

1966年ドイツ、ハンブルクに生まれる。6才よりヴァイオリンを始め83年ドイツ国内コンクール第1位及びカール・フレッシュ国際コンクール優勝。1986年にはクラウディオ・アバドの主宰するヨーロッパ・ユースオーケストラのコンサートマスターに就任、1991年より94年までベルリン芸術大学で教鞭をとり2000年以降はニュルンベルク音楽大学ヴァイオリン科主任教授に在職。1994年から2000年までウィーン・フィルハーモニー管弦楽団及びウィーン国立歌劇場管弦楽団でコンサートマスターを務めた。わが国ではウィーン・ピアノ五重奏団、ゲーデ弦楽四重奏団、ウィーン・フーゴ・ヴォルフ三重奏団及びメランデ・ピアノ三重奏団他、多彩なコンサート活動の傍ら積極的に後進の指導にあたり、現在ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のトップ奏者達で編成されるベルリン・バロック・ゾリステン音楽監督を務めている。また東日本大震災で被災した人々に寄り添いたいとの希望から、すでに兄弟、妻、家族、友人たちと共に都合9回にわたって東北を訪問し学校、病院、地域センター等で100回以上のボランティア・コンサートを行っている。日本での活躍は目覚ましく霧島国際音楽祭や軽井沢国際音楽祭の審査員として毎年来日し、多くの若い演奏家を育てる傍ら演奏活動も積極的に行っている。2018年にはNHK制作の「奇跡のレッスン」に出演し、公立中学校の弦楽クラブの生徒を指導し、その優れた指導法が多くの視聴者に大きな驚きと感動を与えた。



### ■スイシュー・ゲーデ (ピアノ) *Susu Gaede*

ダニエル・ゲーデ夫人のスイシュー・ゲーデは中華人民共和国の古都西安の音楽家一家に生まれる。1978年より1984年まで北京中央音楽院に学び、1987年よりベルリン芸術大学でクラス・ヘルヴィグ教授の指導を受ける。ソリストとしてベルリン・フィルハーモニー・ホールでデビューの後、ヨーロッパ、アメリカ及びアジアの国々で多くのコンサートに出演し、北京国際音楽祭、アレグロ・ヴィーヴォ、アジア音楽祭等に招かれ演奏する。室内楽奏者としてもベルリン・フィルやウィーン・フィルのメンバーと共演、夫であるダニエル・ゲーデとはLP録音にも積極的に関わり「The Tube Only Violin、独 TACET レーベル」等の素晴らしい成果をあげている。一方室内楽奏者としては夫ダニエル・ゲーデとともに、チェロ奏者ユリウス・ベルガーを加えてピアノ・トリオ「トリオ・セシール」を創設し活躍中。夫や次男のフロリアン・ゲーデ(チェロ奏者)と共に、東日本大震災被災地応援ツアーに過去7回にわたり参加し、70回以上のボランティア・コンサートを東北の被災地で行ってきた。



### ■セバスティアン・ゲーデ (チェロ) *Sebastian Gaede*

NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団員  
バイロイト祝祭管弦楽団員  
エルプ・チェリステン団員

1967年にドイツ、ハンブルクに生まれる。5才よりチェロを学びハンブルク音楽アカデミーに進み、ウルフ・ガング・メールホーン及びベルンハルト・グメリンの指導を受ける。1983年ドイツ国内コンクールで優勝し、1986年にはエドアルド・ゼーリング賞を受賞。1988年まで2人の兄(トーマス・ゲーデ及びダニエル・ゲーデ)と共にゲーデ・トリオを組織しドイツ国内外で活躍。1986年から1990年までクラウディオ・アバドの主催するヨーロッパ・ユースオーケストラに所属。1992年以来ハンブルク国立フィルハーモニー管弦楽団団員となり、2014年に高水準の演奏技術と卓越した音楽性により世界的地位を確立した北ドイツ放送交響楽団(現NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団)に移籍。1995年からバイロイト祝祭管弦楽団のレギュラーメンバーでもあり、また室内楽奏者としてもドイツ国内外で数多くの演奏会に出演。なお2011年10月及び2012年2~3月には東日本大震災被災地応援ツアーに参加し、東北の被災地で16回にわたるボランティア・コンサートを実施。